

# 米百俵プレイス 北館

(大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業 C街区)

## 事業者進出協定締結式 共同記者発表要旨

日 時：令和4年8月26日(金) 午後2時から  
会 場：アオーレ長岡 西棟1階 市民交流ホールA

【発表項目：米百俵プレイス北館事業者進出協定締結式 共同記者発表】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

医療法人メディカルビットバレー 理事長 澁谷 裕之

医療法人崇徳会 理事 田宮 尚明

一般社団法人崇徳厚生事業団 事務局長 加藤 輝和

株式会社共栄堂 代表取締役社長 永田 浩史

日本パーキング株式会社 代表取締役社長執行役員 玉井 克彦

### (司会)

これより、米百俵プレイス北館事業者進出協定の締結式を行います。協定の締結に当たり、磯田市長が事業の内容についてご説明いたします。

### (市長)

本日、米百俵プレイス北館の事業者進出協定の締結を行うわけではありますが、昨日、UR都市機構から報道リリースがあったとおり、大手通坂之上町地区市街地再開発事業の地区全体の名称が「米百俵プレイス」に決まったということです。

いよいよ米百俵プレイスの一部オープンが1年後に迫ってきました。今後さらに機運が高まっていくものと期待しているところです。そのような中で、店舗と駐車場が入るC街区「米百俵プレイス北館」について、これまで市が中心となって進出する事業者の調整を行ってきたところであり、そしてこのたび、進出する事業者と事業内容が決定し、本日、進出協定を締結する運びとなりました。

北館の建設工事につきましては現在順調に進捗しており、既に7割程度が完了しております。予定では、令和5年5月末に建物が完成することになっております。今後は、施設を所有する特別目的会社・SPCを設立し、来年6月に駐車場をオープン、秋頃に1階テナントの順次オープンを目指しております。

進出事業者については、資料に記載の5者になります。進出いただいたことに心から感謝を申し上げます。

資料の項番2の外観イメージ及びフロア図についてですが、まず米百俵プレイス北館の1階

には、高度かつ様々な専門医療が集積したメディカルゾーンを整備します。

進出事業者一覧にある医療法人メディカルビットバレー様につきましては、令和2年4月にエール長岡クリニックの開業を発表していただき、長岡発の新たな医療環境づくりを着実に進めていただいております。メディカルビットバレー様には新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、長岡市だけではなく県内のワクチン接種に集中的に取り組んでこられました。職域接種、個別接種の接種回数は14万回になると伺っております。発熱外来やPCR検査、抗原検査も積極的に実施いただくなど、長岡市民の安心安全な暮らしに大きく寄与されております。全国の地方都市で医師不足が叫ばれており、新潟県は全国でも最下位、医師が最も少ない県として新潟県福祉保健部も相当な危機感を持って対応している中で、チーム医療の理念に賛同した若い医師が全国から集まって、今年の4月からは常勤する医師が6名から9名体制になったと聞いております。さらに、これからの業務拡大を想定して、全国的なリクルートも開始されたと伺っています。地域医療の確保だけでなく、米百俵プレイスが目指す人材育成によるまちづくりにも積極的に取り組んでいただいていると考えております。これまで実践されてきた医療イノベーションの取り組みがこれからますます進化していくことを期待して、長岡市としても、最大限のエールと支援をしていきたいと思っております。

また今回、医療法人崇徳会様と、一般社団法人崇徳厚生事業団様から進出していただくことになりました。認知症よろず相談、神経内科と広報・相談所を出店していただくことになっております。崇徳会様につきましては昭和42年の田宮病院開設以降、半世紀以上にわたり、特に精神医療や福祉分野において、高齢者の誰もが住み慣れた地域で健やかに安心して生活を続けられるよう、本市の地域包括ケアシステムの牽引役を担ってこられました。医療・介護の情報連携システム「フェニックスネット」の基礎も築き上げていただき、長岡市民はもとより、新潟県民全体の安心安全な暮らしに大きく寄与されていると考えおります。

これらの各法人のほか、新潟県と山形県で100店舗以上の調剤薬局を広域展開されておられる株式会社共栄堂様が新たに加わって、最先端かつ多様なノウハウを持ったメディカルゾーンがここに誕生することになります。複数の医療分野が相互に連携して、市街地再開発にまさにふさわしい新たな医療イノベーションの拠点となることを期待しております。

2階から5階につきましては、300台収容の大型駐車場が整備されます。ここを日本パーキング株式会社から米百俵プレイス駐車場として運営していただきます。駅前中心市街地の中央という好立地に、雨天や降雪時でも使い勝手のよい屋根付き駐車場が誕生します。多様な駐車料金サービスやEV充電器の設置など、充実した民間サービスにより、来街者の増加につながるものと期待するところであります。

項番3の施設の特徴ではありますが、特に「(2) 共用通路によりまちなか回遊性の向上」として、1階の中央に南北に通り抜ける共用通路を整備するというものであります。バリアフリーに対応するとともに、雨天や降雪時にも濡れることなく、かつ南北に移動したい場合には街区を回ることなく通り抜けが可能で、まちなかの回遊性と施設の利便性が高まるものであります。新たな地域医療として多様なサービスを提供し、市民の暮らしの安心を守り、市内外からも多くの人を引きつける、イノベーション地区にふさわしい施設を整備してまいりたいと考えております。

(司会)

続きまして、本日ご出席の皆様からご挨拶と事業のご紹介をお願いします。

(医療法人メディカルビットバレー 澁谷理事長)

米百俵プレイスのお話をいただいてから、長岡市民のためになることなら何でもやろうという気持ちで精一杯やってきました。今日ようやくスタートラインに立てたと実感しております。長岡発の今の時代にふさわしい医療システムを、仲間とともに今後もスピード感を持って作っ

ていきたいと思ひます。そしてあらゆる壁を突破して、地域医療の底上げを行って、ひいては地方創生に少しでも役に立てるような存在になっていきたいと思ひています。医療にはそれだけの力があって、地方都市にはこれだけのチャンスがあるということを行動で示したいと思ひております。

#### **(医療法人崇徳会 田宮理事)**

私たち崇徳厚生事業団グループは1967年に開設した田宮病院を始まりとし、長岡市を拠点として、自分や家族、友人が利用したいと思ふサービスの提供を共通理念に、医療・福祉・人材育成の各分野を基盤に様々な事業を展開しております。グループ構成法人は、田宮病院、長岡西病院等を運営する医療法人崇徳会、わらび園、桃李園を運営する社会福祉法人長岡老人福祉協会、長岡療育園、こぶし園等を運営する社会福祉法人長岡福祉協会、長岡崇徳大学、上越看護専門学校を運営する学校法人悠久崇徳学院、ボランティアの受け入れ、養成等を行うNPO法人長岡医療と福祉の里ボランティア連合会、医療・福祉施設への給食事業を行う株式会社マイステルジャパン、そしてそれらの法人の連携・協力の促進を担う一般社団法人崇徳厚生事業団の7法人となっております。

米百俵プレイスへの参画にあたっては、中心市街地にあつて市役所や長岡駅に近いという好立地、そして医療、福祉、健康、教育の分野に機関や人材を多く持つ崇徳厚生事業団グループの強みを活かし、地域の皆様の健康で豊かな暮らしを支援する拠点づくりを行いたいと思ひております。

具体的には、まず認知症の方やそのご家族を、相談から外来、入院診療、在宅ケア、そして本人、家族への一体的支援プログラムの提供に至るまで、包括的にワンストップで支援してまいります。核となる事業としては、認知症よろず相談と題し、当グループ所属のソーシャルワーカー、相談員を駐在させ、幅広くまさに「よろず相談」を行います。また、週に1回程度、認知症専門のクリニックを開設し、専門医による診療を受けられる体制も整備します。ここでの相談、診療を間口として、当グループの長岡西病院認知症疾患医療センター、田宮病院認知症治療病棟といった医療機関や、訪問診療、訪問介護といった在宅ケアなどの崇徳厚生事業団の認知症対応サービス全般のナビゲーションを行うことで、ワンストップでサポートしてまいります。加えて、認知症患者本人とそのご家族を一体的に支援する場とプログラムを提供する拠点として、軽度認知症者の就労支援や若年性認知症者の居場所づくりなどを実施できるよう準備を進めるほか、認知症に限らず、栄養、運動、メンタルなど様々な専門職による講座・講演や地域住民による幅広い活動、交流、他業種との連携・協働など多目的に活用し、学びや交流、にぎわいというミライエの役割に沿った運営を目指していければと思ひております。

#### **(株式会社共栄堂 永田社長)**

このたび、共栄堂薬局長岡店を出店する運びとなり、これを運営するのが私ども株式会社共栄堂でございます。会社概要は資料のとおりですが、私どもは新潟県を中心に105店舗の薬局を運営しております。長岡市においては既に4店舗を運営しており、長岡店は5店舗目の出店となります。長岡店の概要は、資料の①から④に関しては通常の薬局と同じものですが、⑤感染症隔離室設置予定と記載した部分に関しては、昨今の感染症の流行を考慮しまして、一般の患者様と動線が交わらないことを目的に設置したいと思ひております。

設置場所は建物入口付近になりますので、そこで処方箋の受付をし、場合によってはそこで投薬するような設備としています。同フロアには医療機関の先生方やスタッフの皆様がいらっしゃいますので、皆様と連携して長岡市の地域医療に貢献できればと思ひております。

#### **(日本パーキング株式会社 玉井執行役員)**

私ども日本パーキング株式会社は、東京建物という不動産会社のグループ会社で、東京建物の駐車場事業を担う会社であります。事業規模としましては、全国で展開しており、拠点数は

全国で約1,850カ所、車室数76,000台ほどの駐車場を運営しております。行政の建物で言いますと、横浜市役所様の駐車場や東京都立病院様の駐車場など、大型施設の駐車場運営に特徴と強みを持った企業です。新潟県内では140カ所、5,347台、長岡市内では11カ所、256台の駐車場を運営している状況です。

今回の米百俵ブレイスの駐車場に関しましても、しっかりと取り組みまして、皆様の利便性向上につなげてまいりたいと思っております。

(司会)

これより進出協定を締結いたします。本日、代理出席をいただいている医療法人崇徳会様、一般社団法人崇徳厚生事業団様につきましては、事前に代表者様よりご署名をいただいております。また、各社と本市双方の署名はおおむね済ませており、本日は一部のみ代表者様からご署名をいただきます。それでは、進出協定書に署名をお願いいたします。

(署名)

ありがとうございます。ここに進出事業者各社と長岡市との進出協定が締結されました。

(写真撮影)

(司会)

これより質疑応答に入ります。

(記者)

磯田市長にお伺いします。北館の1階にメディカルゾーンを整備するという事で、改めてそのねらいと、市民にとってどんな場所になればという点についてお考えをお聞かせください。

(市長)

まず地域的な特徴として、中心市街地にマンションが次々と建っている状況があります。歴史的に言いますと、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院、立川総合病院が中心市街地やその周辺にあり、いずれも郊外に出たという状況があります。そういう中で、中心市街地への居住がまだ継続的に増えてくる、あるいは地方分散の流れで増えることも考えられ、医療機関の充実を何か考えてほしいという市民の要望がありました。それとともに、新潟県の医師不足というのは本当に大変な状況で、知事も危機感をあらわにしている状況です。

こうした中、澁谷理事長が率いるメディカルビットバレーさんが県外からも医師を集めながら、チーム医療、遠隔医療というものに挑戦していきたいという意向を示され、今回、共栄堂さんや崇徳会、崇徳厚生事業団の皆さんが医療全体をさらに充実させたいということで一緒にやっとうという運びになりました。長岡で新しい医療をつくっていくという動きはまさに長岡版イノベーションの医療版だと思っております、大きな期待を寄せているところであります。

(記者)

メディカルビットバレーの澁谷理事長に伺います。県内で医師不足が深刻だということで、医療関係者の確保やその方法について、どのように考えていらっしゃるのでしょうか。

(医療法人メディカルビットバレー 澁谷理事長)

地方の医師不足は昔から言われてきたことだと思います。いろんな対策を練ってきたけれどもなかなか増えなかったというのが現実で、私の周りでは地方都市だから医者をやりたくないというのは意外と少なかったと感じています。結局、医者というのは数ではなくて質だと思います。質を良くして、本当の意味でのチーム医療を展開すれば、必ず良い医療者が集まって、そうすると少ない数でも大きな役割を果たすことができる。そういう理念でつくったのが私ど

もで、これがたまたま長岡で起きたということです。今後そういったことが広まってくると、実は医者数は数よりも質であって、いろんな人たちとチームを組むことによって大きな役割を果たせるという概念が広がり、地方の医師不足はかなり大きな変わり方をすると思います。数ではなく、無理をして医師を引っ張ってくるばかりが医療の改革じゃないということを示したいというのが私の考えです。

(記者)

今後、オミクロン株対応ワクチンの接種が始まりますが、長岡市との連携についてはいかがでしょうか。

(医療法人メディカルビットバレー 澁谷理事長)

長岡市には、私たちが協力できることを提案してきておりました。もちろん大きな都市ですのでいろいろなことがあるとは思いますが、特にオミクロン株対応ワクチンに関してはかなり幅広い年齢層でやるということで、私たちが1年4カ月ほど培ってきたノウハウをぜひ活かしていただければ非常に嬉しいですし、長岡市民にとっても大変嬉しいことになるのではないかと思います。

(記者)

磯田市長にお聞きします。米百俵プレイス全体のねらいとして、まちなかから人の流れを生むことによって、市全体を盛り上げたいという思いがあるのかなと思いますがいかがでしょうか。

(市長)

中心市街地での人の流れの効果を全体に及ぼすということもありますが、地方都市である長岡市がこれから生き残り、発展していくためには、長岡の持つ機能の充実、例えば産業や、今回のことと言えば医療が充実していくことが、長岡市全体に効果が及ぶというよりも外から人を集めることになると思います。長岡を目指して人がやってくる拠点をこの中心市街地の再開発地区につくりたいというのがねらいで、長岡版イノベーション、起業、創業、産業の発展の拠点をつくるということになります、その医療版がこの街区の役割だと思っています。

(記者)

診療の体制について、澁谷理事長と田宮理事にお伺いします。

現時点で決まっていることで結構ですが、エール長岡クリニックは9つの診療科があると思いますが、曜日ごとで違うのか、また、医師はどれくらい常駐するのかをお伺いしたいです。

(医療法人メディカルビットバレー 澁谷理事長)

エールホームクリニックのほか、来年からはエール長岡クリニックも運営しますが、大体10人ちょっとの医師で2つのクリニックを運営する感じになります。診療科が9科ということよりも、誰でもどんな症状でもまずは診てみますということを私たちは一番大事にしています。内科、小児科、皮膚科をメインにやっていますが、耳が痛い、おなかが痛いなど、患者さんにとっては何がどの診療科なのかはわからないので、まずはどんなことでもエールに来ていただければ、そこでしっかり診断をつける、専門のところに紹介するなどという機能を果たしていきたいと思います。

(記者)

イメージとしては、言葉は悪いですが田舎の診療所のように初期段階を全部やるような感じでしょうか。

(医療法人メディカルビットバレー 澁谷理事長)

田舎のほうの先生は1人でやっていると思いますが、我々はそれが全て専門医になります。大事なのは総合医マインドを持つということで、誰でもどうぞということをやりながら、第一線の専門医療をやっていく。おそらく、今は専門医ごとにやっていることが医療の壁を作って

いますので、それを取り払って、一人ひとりが総合医マインドを持ってそれぞれが重なる部分を受け持つことによって、バケツに絵の具が広がるようなイメージでクリニックを展開していくということです。それにより、先ほどお話しした医者が少なくても多くの患者を診ることができるということにつながると思います。

(記者)

それぞれの医師が専門医であるけれども、総合的な観点でということですね。

(医療法人メディカルビットバレー 澁谷理事長)

そうです。それが一番大事で、専門が例えばリウマチ科であっても、まず人間を見るということが一番大事ですし、小児科の医師、内科の医師と少しずつ違うけれども、それよりはまず地域を見る、住民を見ることが一番大事だということです。その中で自分たちの専門分野が必要だということやっていきます。

(医療法人崇徳会 田宮理事)

認知症専門クリニックの体制についてですが、核は認知症のよろず相談で、その中にクリニックを入れたというところで、今のところ週1回程度の開設を検討しているとお話ししましたが、医師数や営業時間に関しては検討中です。

(記者)

認知症よろず相談について、グループの他の場所でやっていますか。

(医療法人崇徳会 田宮理事)

グループの中では他でもやっておりますが、先ほど磯田市長がおっしゃったとおり、中心市街地への今後の期待や価値という点で、今回進出させていただきました。

(記者)

令和2年の段階で、当初の計画は今年の春にオープンという発表がありましたが、遅れた理由を改めて教えてください。

(中心市街地整備室 谷畑室長)

まず敷地内の土壤汚染が確認され、その処理に時間を要したため事業が遅れたという部分があります。また、再開発事業は長期間の事業になりますので、新型コロナウイルス感染症もそうですが、事業期間中のいろいろな社会情勢の変化による事業計画の見直しや、1階テナント機能等の見直しの検討に時間を要したため、トータルで1年4カ月ほど事業が遅れるという状況です。

(司会)

以上をもちまして、米百俵プレイス北館事業者進出協定締結式を終了いたします。